

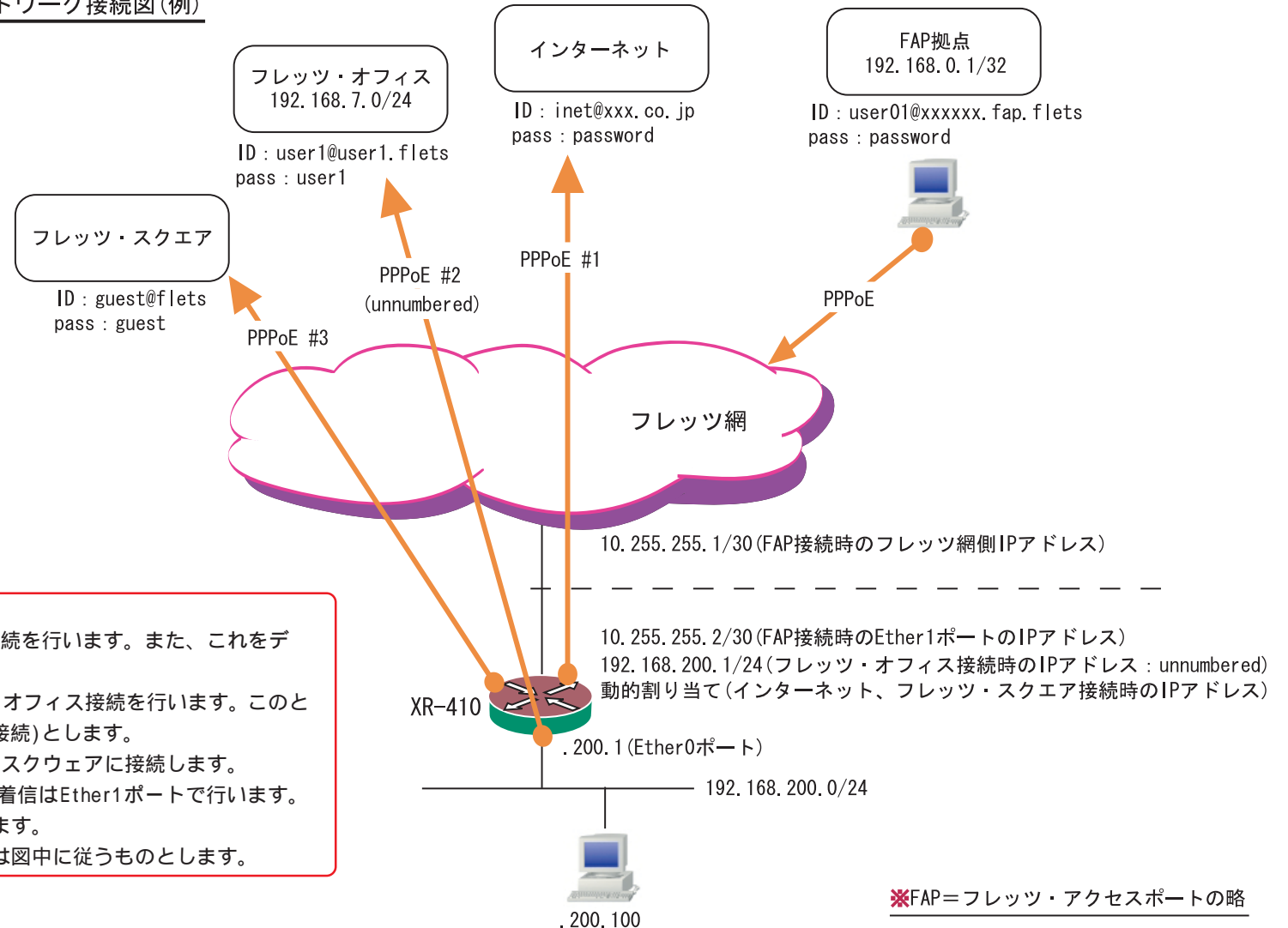
PPPoE マルチセッション用の設定手順

フレッツ・アクセスポートでの接続設定例

センチュリー・システムズ(株)

この設定例は、「フレッツ・アクセスポート」接続サービスを利用する際に必要な設定例です。この設定例ではフレッツ・アクセスポートだけでなく、通常のインターネット接続や各種フレッツサービスにも同時に接続します。「フレッツ・アクセスポート」接続サービスは、Bフレッツ ビジネスタイプにおいて高速なりもリモートアクセス接続環境を提供するサービスです。サービスの詳細については、NTT東日本までお問い合わせ下さい。

ネットワーク接続図(例)



- <運用の条件>**
- (a) PPPoE 主回線でインターネット接続を行います。また、これをデフォルトルートとします。
  - (b) PPPoE マルチ #2 回線でフレッツ・オフィス接続を行います。このとき、LAN 型払い出し (unnumbered 接続) とします。
  - (c) PPPoE マルチ #3 回線でフレッツ・スクウェアに接続します。
  - (d) FAP 接続によるリモートアクセス着信は Ether1 ポートで行います。Ether0 側はローカルエリアとします。
  - (e) IP アドレスや接続アカウント等は図中に従うものとします。

※FAP=フレッツ・アクセスポートの略

## [a] PPPoE 設定 その1

プロバイダ名	internet
ユーザID	inet@xxx.co.jp
パスワード	password
DNSサーバ	<input type="radio"/> 割り当てられたDNSを使わない <input checked="" type="radio"/> プロバイダから自動割り当て <input type="radio"/> 手動で設定 プライマリ <input type="text"/> セカンダリ <input type="text"/>
LCPキープアライブ	チェック間隔 <input type="text" value="30"/> 秒 3回確認出来なくなると回線を切断します 0秒を入力するとこの機能は無効になります
Pingによる接続確認	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する 使用するホスト <input type="text"/> 発行間隔は30秒固定、空欄の時はP+P-Gatewayに発行します
<b>UnNumbered-PPP回線使用時に設定できます</b>	
IPアドレス	<input type="text"/> 回線接続時に割り付けるグローバルIPアドレスです
<b>PPPoE回線使用時に設定して下さい</b>	
MSS設定	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効(奨励) MSS値 <input type="text" value="0"/> Byte (有効時にMSS値が0又は空の場合は、MSS値を自動設定(Clamp MSS to MTU)します。最大値は1452。ADSLで接続中に変更したときは、セッションを切断後に再接続する必要があります。)

インターネット接続のための接続先設定を行います。

## [b] PPPoE 設定 その2

プロバイダ名	group access
ユーザID	user1@user1.flets
パスワード	user1
DNSサーバ	<input type="radio"/> 割り当てられたDNSを使わない <input checked="" type="radio"/> プロバイダから自動割り当て <input type="radio"/> 手動で設定 プライマリ <input type="text"/> セカンダリ <input type="text"/>
LCPキープアライブ	チェック間隔 <input type="text" value="30"/> 秒 3回確認出来なくなると回線を切断します 0秒を入力するとこの機能は無効になります
Pingによる接続確認	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する 使用するホスト <input type="text"/> 発行間隔は30秒固定、空欄の時はP+P-Gatewayに発行します
<b>UnNumbered-PPP回線使用時に設定できます</b>	
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.200.1"/> 回線接続時に割り付けるグローバルIPアドレスです
<b>PPPoE回線使用時に設定して下さい</b>	
MSS設定	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効(奨励) MSS値 <input type="text" value="0"/> Byte (有効時にMSS値が0又は空の場合は、MSS値を自動設定(Clamp MSS to MTU)します。最大値は1452。ADSLで接続中に変更したときは、セッションを切断後に再接続する必要があります。)

フレッツ・オフィス接続のための接続先設定を行います。  
「IPアドレス」項目に、フレッツ・オフィスの固定IPアドレスを設定してください。

### [c] PPPoE 設定 その3

プロバイダ名	<input type="text" value="flets square"/>
ユーザID	<input type="text" value="guest@flets"/>
パスワード	<input type="text" value="guest"/>
DNSサーバ	<input type="radio"/> 割り当てられたDNSを使わない <input checked="" type="radio"/> プロバイダから自動割り当て <input type="radio"/> 手で設定 プライマリ <input type="text"/> セカンダリ <input type="text"/>
LOPキーブアライブ	チェック間隔 <input type="text" value="30"/> 秒 3回確認出来なくなると回線を切断します 0秒を入力するとこの機能は無効になります
Pingによる接続確認	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する 使用するホスト <input type="text"/> 発行間隔は30秒固定、空欄の時はPtP-Gatewayに発行します
<b>UnNumbered-PPP回線使用時に設定できます</b>	
IPアドレス	<input type="text"/> 回線接続時に割り付けるグローバルIPアドレスです
<b>PPPoE回線使用時に設定して下さい</b>	
MSS設定	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効(奨励) MSS値 <input type="text" value="0"/> Byte (有効時にMSS値が0又は空の場合は、MSS値を自動設定(Clamp MSS to MTU)します。最大値は1452。ADSLで接続中に変更したときは、セッションを切断後に再接続する必要があります。)

フレッツ・スクウェア接続のための接続先設定を行います。

## [d-1] インタフェース設定 その1

Ether 0ポート

固定アドレスで使用  
IPアドレス   
ネットマスク   
MTU

DHCPサーバから取得  
ホスト名   
MACアドレス

IPマスカレード  
(このポートで使用するIPアドレスに変換して通信を行います)

ステートフルパケットインスペクション

Proxy ARP

ポートの通信モード  
 自動  full-100M  half-100M  full-10M  half-10M

(画面はXR-410/TX2 ver1.2.2の表示例です)

Ether0ポートのIPアドレス設定を行います。フレッツ・オフィスはLAN型払い出し(unnumbered接続)ですので、**[b]**で設定したIPアドレスと同じ値を設定します。

IPアドレス設定後は直ちに変更内容が反映されます。設定を変更した場合は、**各ホストのIPアドレスをインタフェース設定に合わせて再設定し、変更後のIPアドレスで設定画面に再度アクセスしてください。**

## [d-2] インタフェース設定 その2

Ether 1ポート

固定アドレスで使用  
IPアドレス   
ネットマスク   
MTU

DHCPサーバから取得  
ホスト名   
MACアドレス

IPマスカレード  
(このポートで使用するIPアドレスに変換して通信を行います)

ステートフルパケットインスペクション

Proxy ARP

ポートの通信モード  
 自動  full-100M  half-100M  full-10M  half-10M

(画面はXR-410/TX2 ver1.2.2の表示例です)

Ether1ポートのIPアドレス設定を行います。フレッツ・アクセスポートで着信を行うためのIPアドレス設定となります。閉域網を利用した通信を行いますので、ステートフルインスペクションは無効としています。

## [e-1]接続設定 その1

回線状態	主回線は切断されています
接続先の選択	<input checked="" type="radio"/> 接続先1 <input type="radio"/> 接続先2 <input type="radio"/> 接続先3 <input type="radio"/> 接続先4 <input type="radio"/> 接続先5
接続ポート	<input type="radio"/> RS232C <input type="radio"/> Ether0 <input checked="" type="radio"/> Ether1
接続形態	<input type="radio"/> 手動接続 <input checked="" type="radio"/> 常時接続
IPマスカレード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
ステートフルパケット インスペクション	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
デフォルトルートの設定	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続IP変更 お知らせメール	<input checked="" type="radio"/> 送信しない <input type="radio"/> 送信する
お知らせメールの宛先	<input type="text"/>
お知らせメールの Fromアドレス	XR <input type="text"/>
中継するメールサーバのアド レス	<input type="text"/>

(画面はXR-410/TX2 ver1.2.2の表示例です)

インターネット接続のための接続設定を行います。主回線接続の設定となります。

インターネットアクセスを行いますので、IPマスカレードとステートフルインスペクションは有効にします。

また主回線接続をデフォルトルートとしますので、「デフォルトルートの設定」も有効にしてください。

## [e-2]接続設定 その2

マルチPPP/PPPoEセッション機能を利用する際は以下を設定して下さい	
マルチ接続 #2	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続先の選択	<input type="radio"/> 接続先1 <input checked="" type="radio"/> 接続先2 <input type="radio"/> 接続先3 <input type="radio"/> 接続先4 <input type="radio"/> 接続先5
接続ポート	<input type="radio"/> RS232C <input type="radio"/> Ether0 <input checked="" type="radio"/> Ether1
IPマスカレード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
ステートフルパケット インスペクション	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マルチ接続 #3	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続先の選択	<input type="radio"/> 接続先1 <input type="radio"/> 接続先2 <input checked="" type="radio"/> 接続先3 <input type="radio"/> 接続先4 <input type="radio"/> 接続先5
接続ポート	<input type="radio"/> RS232C <input type="radio"/> Ether0 <input checked="" type="radio"/> Ether1
IPマスカレード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
ステートフルパケット インスペクション	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

(画面はXR-410/TX2 ver1.2.2の表示例です)

マルチ接続側の接続設定を行います。

マルチ接続 #2 ではフレッツ・オフィス接続を行います。LAN型払い出しのため IP マスカレードは無効にしています。マルチ接続 #3 ではフレッツ・スクウェア接続を行います。IP マスカレードは必ず有効にしてください。

どちらの接続も閉域網での通信のため、ステートフルインスペクションは無効としています。

## [f]スタティックルーティング設定

No.	ホスト/ネットワーク	アドレス	ネットマスク	インターフェース	ゲートウェイ	ディスタンス	削除
1	ネットワーク	192.168.0.0	255.255.255.0	Ether1ポート	10.255.255.1	1	<input type="checkbox"/>
2	ネットワーク	192.168.7.0	255.255.255.0	PPP/PPPoE-マルチ #2		1	<input type="checkbox"/>
3	ネットワーク	220.210.194.0	255.255.255.128	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
4	ネットワーク	220.210.195.0	255.255.255.192	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
5	ネットワーク	220.210.195.64	255.255.255.192	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
6	ネットワーク	220.210.197.0	255.255.255.192	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
7	ネットワーク	220.210.197.64	255.255.255.224	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
8	ネットワーク	220.210.197.96	255.255.255.224	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
9	ネットワーク	220.210.198.0	255.255.255.192	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
10	ネットワーク	220.210.199.0	255.255.255.224	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
11	ネットワーク	220.210.198.128	255.255.255.192	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>
12	ネットワーク	220.210.197.128	255.255.255.128	PPP/PPPoE-マルチ #3		1	<input type="checkbox"/>

スタティックルーティング設定を行います。マルチ接続側で通信をするために必要となります。

No.1 は、フレッツ・アクセスポート接続でリモートホストと通信するためのルーティング設定です。ゲートウェイには、フレッツ・アクセスポート接続時の網側の IP アドレスを設定します。

No.2 は、フレッツ・オフィス接続で相手の LAN と接続するためのルーティング設定です。

No3. から No.12 は、フレッツ・スクウェアに接続するためのルーティング設定です。

**フレッツ・スクウェアへのルーティング情報は2004年2月25日現在のものです。予告なく変更されている場合がありますので、詳細はNTT東日本までお問い合わせ下さい。**

## [g]各種サービス設定

DNSサーバ	<input type="radio"/> 停止 <input checked="" type="radio"/> 起動	動作中
DHCP(Relay)サーバ	<input type="radio"/> 停止 <input checked="" type="radio"/> 起動	動作中
IPsecサーバ	<input checked="" type="radio"/> 停止 <input type="radio"/> 起動	停止中
UPnPサービス	<input checked="" type="radio"/> 停止 <input type="radio"/> 起動	停止中
ダイナミックルーティング	起動停止はダイナミックルーティングの設定から行って下さい	
sysLOGサービス	<input type="radio"/> 停止 <input checked="" type="radio"/> 起動	動作中
帯域制御(DoS)サービス	<input checked="" type="radio"/> 停止 <input type="radio"/> 起動	停止中
攻撃検出サービス	<input checked="" type="radio"/> 停止 <input type="radio"/> 起動	停止中
SNMPサービス	<input checked="" type="radio"/> 停止 <input type="radio"/> 起動	停止中
NTPサービス	<input checked="" type="radio"/> 停止 <input type="radio"/> 起動	停止中
VRRPサービス	<input checked="" type="radio"/> 停止 <input type="radio"/> 起動	停止中
アクセスサーバ	起動停止はアクセスサーバの設定から行って下さい	

(画面はXR-410/TX2 ver1.2.2の表示例です)

各種サービス設定画面では、「DNSサーバ」を起動させます。

このとき、各クライアント PC の DNS サーバアドレスにはルータの IP アドレスを設定してください。

## [h]パケットフィルタ設定

フレッツ・オフィス接続でWindows ファイル共有をおこなう場合には、転送フィルタ設定の No1. から No.4 の設定を削除してください。

## [i]接続の開始

PPP/PPPoE 接続設定画面から、PPPoE 接続を開始します。

接続後はスタティックルーティング設定にしたがって自動的にルーティングされます。



PPPoE マルチセッション用の設定手順  
フレッツ・アクセスポートでの接続設定例

---

2004年3月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社

2001-2004 CENTURYSYSTEMS, INC. All rights reserved.

---